

機械式立体駐車施設に係る 海外展開の取組について

公益社団法人
立体駐車場工業会

2019. 3. 6



Japan Parking System Manufactures Association Incorporated



公益社団法人 立体駐車場工業会 0

○2018年海外都市交通と駐車場整備事情調査

- ・インドネシア・ジャカルタ特別州
- ・マレーシア・クアラルンプール市

○機械式立体駐車設備の意見交換会

- ・韓国交通安全公団



Japan Parking System Manufactures Association Incorporated



公益社団法人 立体駐車場工業会

1

日本の機械式立体駐車施設の普及等を目的として、インドネシア・ジャカルタ特別州、マレーシア・クアラルンプール市における行政部局との情報交換及び現地における駐車実態調査を行った。

I. インドネシア・ジャカルタ特別州調査

1. 調査日：2018.10.22（月）
 2. 調査団員：立体駐車場工業会 石丸会長他会員11名
都市局街路交通施設課 山田企画専門官
 3. ジャカルタ特別州出席者：交通局駐車場管理部長他5名
 4. 交通局駐車場管理部長より
- ①鉄道、地下鉄、LRT、バス等の公共交通インフラ整備に交通局全体が注力。駐車場整備は民間に委ねている。
- ②駐車料金の支払いを電子マネーやスマホでの決済を検討中。IT整備を早急に進めたいので、支払決済のアプリを作るための支援要望あり。



ジャカルタ特別州における情報交換



特別州内・機械式駐車設備の視察。韓国製であるが立駐機普及の兆しがある。コスト競争力必要。



II. マレーシア・クアラルンプール市調査

1. 調査日：2018.10.25（木）
 2. 調査団員：立体駐車場工業会 石丸会長他会員11名
都市局街路交通施設課 山田企画専門官
 3. クアラルンプール市出席者：土木・都市交通局長他9名
 4. 土木・都市交通局長より
- ①交通量調査では、公共交通機関の利用者20%、車の利用80%。
- ②駐車場を作る場合、待機エリア（入庫エリアの10%）を準備しなければならない。大きな道路から直接入場（渋滞防止）してはならない。出庫時間は3分以内（ユーザからクレーム）でなければならない等、具体の要請項目がある。
- ③紹介された機械式駐車場は先進的な技術を持ったものだと思う。クアラルンプール市で機械式駐車場を導入する機会が来れば皆さんの会社を紹介する。紹介する相手は不動産業社、ゼネコンなどになる。



クアラルンプール市における情報交換



クアラルンプール市内・機械式駐車設備の視察



韓国交通安全公団との意見交換会

1. 開催日：2018. 10. 16（火）
2. 出席者
 - ①韓国：韓国交通安全公団次長、韓国交通大学 副教授他2名
 - ②日本：工業会専務理事、企画部長他2名
3. 場 所：（公社）立体駐車場工業会
4. 目 的：
 - ①機械式駐車場の事故発生時における事故処理手続及び事故調査の体系
 - ②機械式駐車場における種類別の運営実態調査
5. 意見交換概要：
 - ①最近、韓国では機械式駐車装置の普及増加とともに事故も増えている傾向であり、事故の正確な原因調査及び再発防止に向けた対策を設けるために事故調査制度を導入する計画である。
 - ②消費者庁事故調査委員会、国土交通省等の安全対策を受けて、工業会が国土交通大臣認定の登録認証機関となり、法に基づく認証を担当するなどの活動を報告した。

